

のうぎょうと農業委員会

第20号

編集
十和田市農業委員会
☎516740

農業委員会選挙人名簿の登録申請書提出を忘れずに！

農業委員会では、毎年、農業者の申請に基づき「農業委員会委員の選挙人名簿」を作成しています。選挙資格があっても選挙人名簿に登録されていないと投票できませんので、期限までに忘れずに申請書を提出してください。

■申請書の送付

12月27日頃までに、各農家へ郵送します。12月中に申請書が郵送されない場合はご連絡ください。

■選挙資格（全要件を満たすかた）

- ▼平成5年4月1日以前に生まれたかた
- ▼平成25年1月1日現在で市内に住所を有するかた
- ▼10a以上の農地を耕作しているかたおよび同居の配偶者が親族で、

年間おおむね60日以上農業に従事しているかた

■提出期限

平成25年1月10日(木)必着
※休日市役所の日直が受け付けします。

■提出先

市役所新館4階農業委員会事務局
または十和田湖支所市民生活係に提出してください。
※郵送でも結構です。記入漏れがないかご注意ください。

農業委員会からお知らせ

地証本家委託状が必要な農地証明書の発行は、農地台帳の更新と併せて農業者の届出が必要となります。

農地利用状況調査（農地パトロール）を実施

9月3日から6日までの4日間、遊休農地の利用状況確認のため、市内の農地パトロールを実施しました。今年も新たに遊休農地が確認されたことから、引き続き解消に向けた指導を行い、併せて農業的利用に向けた利用集積を図っていきます。遊休農地は、雑草の繁茂や病虫害の発生などその農地ばかりではなく近隣農地へ悪影響を及ぼしたり、農地の持つ多面的機能の喪失にもつながりかねません。



農業委員が市内農地をパトロール

国内農業視察研修報告

8月29日から31日までの3日間、農業委員の資質向上と他地域の農事情の把握を目的に、福島県で開催された「東北・北海道農業活性化フォーラム」への参加と6次産業化に取り組み農業生産法人の視察研修に委員8人が参加しましたので、その状況を報告します。

【視察研修先】

- ▼農業生産法人(株)エコファームジャパン（福島県郡山市）
- ▼東北・北海道農業活性化フォーラム（福島県福島市）
- ▼農業生産法人(株)オジマスカイサービス（宮城県登米市）



▲今回の視察研修に参加した農業委員



赤崎和夫委員

「(株)エコファームジャパン」は、農産物の無農薬栽培と技術コンサルトなどを行っている農業生産法人で、主な事業は、「芽子にく」の水耕栽培と販売です。

芽子にくには、水耕栽培で発芽と発根させた状態で収穫したものを真空パックで出荷します。ハウスで栽培するので、月2回、年24回収穫ができ、収益率も非常に高いです。「うまい」「臭わない」「ミネラル豊富な健康野菜」として、居酒屋などから注文が殺到、生産が間に合わない状況になっているそうです。



▲(株)エコファームジャパン社員と意見交換を行う委員



杉山秀明委員

空気がおおいし、景色が素晴らしい福島で大きな災害が起こったかと思うと心が痛み、残念に思います。「東北・北海道農業活性化フォーラム」には、農業委員約2000人が集まり、ジャーナリスト・見城美枝子氏から「東日本大震災からの農

業再生を目指して」と題した講演と、宮城・福島県内の農業委員会から事例発表が行われました。

見城氏の幅広い視野からの講演に、農業再生について少し前向きになれた気がしましたが、その中で、「子どもには汚染されない食料を食べさせ、大人は少しでも汚染された食料を食べると良い」ということは駄目だ」と話されたのは、その家族の心情や家計などの状況からそうせざるを得ない事情があるからです。そのことについては非常に遺憾でした。事例発表では、震災からの再生を目指して頑張っている様子が発表され、大変心が打たれるものがありました。



新屋敷より子委員

研修となりました。

見城氏の講演で、「風評被害ではなく実害です」という話には納得です。ある地域の牧草地は、除染して播種したのにもまだ数値が高いとのこと。何回除染したら元のきれいな農地に戻るのか心配です。

また、「食」についての話では、外食産業から家庭での食事を取り戻すためには手軽さが重要で、1合の無洗米と炊く水のセットがあればい

農地保有合理化事業で有利に規模拡大を！

公益社団法人あおもり農林業支援センターでは、今年4月から青い森農林振興公社に代わって農地保有合理化事業を実施しています。

この事業は、経営規模を縮小する農家から支援センターが農地を買い入れ（借り入れ）、規模を拡大する農家に売り渡し（貸し付け）するものです。契約書類の作成は全て支援センターが行い、少しの手数料は掛かりますが、税制面などのメリットがあります。

詳しいことは、農業委員会または支援センターへご相談ください。
☎0177-7731313

農業者年金で安心と豊かな老後を
農業者年金は、農業者のための年金で、自らが積み立てた保険料とその運用益を原資とした積立方式（確定拠出型）であり生涯支給される安心で安全な制度です。



野崎さち子委員

い、野菜も一人分にするなど売り方の工夫が必要なのではというような面白い話を聞くことができました。

「(株)オジマスカイサービス」は、水稲・大豆を主要作物として、特別栽培による付加価値販売と無人ヘリによる農作業の受委託、加工・直売所、農家レストランなど幅広く事業展開している農業生産法人です。従業員は、6次産業化を目指している若者が多く、障害者も雇用しています。農業の6次産業化が言われていますが、付加価値を付け、販売するのは素人では難しいとのことでした。

今回の研修で、地域にリーダーがいて、農作物に付加価値を付けて販売を行い、若い人を雇用し、さらに地域環境を守ることができる農業の力は素晴らしいものだ改めて感じました。課題もありますが、地域の女性農業委員として、少しずつでも農業を活性化させていきたいと思っています。



▲(株)オジマスカイサービス社員から説明を受ける委員